

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	RT	学部・学科	国際商・国際商
学 年	3 年	派遣国	アメリカ
派遣大学	セントクラウド州立大学		
期 間	2024 年 8 月 18 日～ 2025 年 5 月 9 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	×	冷蔵庫	×
滞在費	約 (92,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (5) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	60,000 円	前期は回数制限なしのプラン/後期は 45meal plan + 自炊でおそらく 4 万円ほどだった
学用品購入費	20, 000 円	学内施設利用費など
交通費	0 円	
交際費	10,000 円	外食
その他	円	
合計	90,000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

比較的治安が良い場所だと思います。ホームレスなどあまり見かけませんでした。
キャンパス内は暗くても歩き回れますが、夜にキャンパス外を歩くのは控えたほうが良い
と思います。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(93,080) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	International student health insurance		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(257,271) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (セントクラウド)

セントクラウド市は、ツインシティーズ（ミネアポリスとセント・ポール）の北西約 104 キロ先に位置し、ミシシッピ河やソーク河が流れる緑豊かな文教都市です。

街の中心部であるダウントウンは、アメリカの古き良き時代を思わせる古い街並みが続き、商業施設や行政施設があります。郊外は、緑や湖が多く、のどかな農地が広がる風景が広がります。

【学業編】

1. 大学情報

大学	セントクラウド州立大学	所在地	720 4 th Ave S, St. Cloud, MN 56301
最寄空港	ミネアポリスセントポール国際空港	空港からの距離	車で1時間半
空港⇄大学	(タクシー、バス) *移動手段		
学生数	10,164 (2024 fall)	留学生数	1,047
学部	College of Liberal Arts College of Science and Engineering School of Computing, Engineering, and Environment Herberger Business School College of Education and Learning Design College of Health and Wellness Professions School of Public Affairs *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Business *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (8)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Reading& Writing (9:00~10:50) Structure (11:00~11:50)	Listening& speaking (9:00~10:20) Vocabulary (10:30~11:50)	Reading& Writing (9:00~10:50) Structure (11:00~11:50)	Listening& speaking (9:00~10:20) Vocabulary (10:30~11:50)	Reading& Writing (9:00~10:50) Structure (11:00~11:50)
午後		Literature (13:00~14:30)		Literature (13:00~14:30)	

② (1)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Introduction to professional management (9:30~10:45) Principles of Sociology (11:00~12:15)	Introduction to Marketing (9:30~10:45)	Introduction to professional management (9:30~10:45) Principles of Sociology (11:00~12:15)	Introduction to Marketing (9:30~10:45)	
午後				Animation history (14:00~16:50)	

3. 履修内容

科目	Introduction to professional management		
履修期間	1 月から 5 月（春学期）	単位数	3
授業内容／形態	対面。50 人。講義中心、グループでの話し合いもある。 マネージャー、組織、その環境、およびそれらの相互作用の観点から、現代経営の基礎を学ぶ。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	経営管理論 a	
	単位数	2	
	担当教員	高木 俊雄	

科目	Principles of Sociology		
履修期間	1 月から 5 月（春学期）	単位数	3
授業内容／形態	対面。40 人。 人間の社会的相互作用（文化、集団、集団と人格、集団間の相互作用、コミュニティ、社会制度、文化の変化、社会的解体を含む）について学ぶ。 主にアメリカの人種に関する問題。		
成績	A +		
YCU 振替予定	科目	社会学入門 a	
	単位数	2	
	担当教員	角田 隆一	

科目	Introduction to Marketing		
履修期間	1 月から 5 月（春学期）	単位数	3
授業内容／形態	対面。40 人。 倫理的、社会的、政治的、経済的、技術的、そしてグローバルな要因を考慮しながら、マーケティング機能の分析、計画、管理を学ぶ。実際に地元の会社のマーケティング戦略を立てる。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	マーケティング論	
	単位数	2	
	担当教員	柴田 典子	

科目	Animation history		
履修期間	1月から5月（春学期）	単位数	3
授業内容／形態	対面。24人。 仕掛け的な始まりから、子ども向け娯楽として全盛期を迎え、さらに現在では、大ヒットエンターテインメントや風刺的な作品、さらにはドキュメンタリーとしても登場するようになったアニメーションの歴史、技法を学ぶ。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Crime and justice in America (online)		
履修期間	1月から5月（春学期）	単位数	3
授業内容／形態	完全オンライン。60人。 アメリカの刑事司法制度の構成要素、構造、機能（犯罪被害者、法執行機関、裁判所、矯正施設、保護観察、仮釈放、地域矯正、少年司法）について学ぶ。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

10 か月間のアメリカ生活が終わりました。渡米した直後は、緊張していたので精神的にすごく疲れました。聞こえてくる英語に敏感になってしまい、ずっと気を張っていたのが大きな原因だと思います。ルームメイトとの同居後に、彼女が持ってきた扇風機の風による乾燥でのどを痛め、体調を崩しました。今考えなおすと、最初の 2 週間は、心身共になかなか大変な時期でした。友人はホームシックになっている人がいましたが、日本でも 1 人暮らしをしていたので、そこは乗り越えられました。ただ、留学中全体を通して、食堂の食事には慣れることができなかったです。現地のアメリカ人でさえ文句を言っていました。

今回の留学で得た大きな経験は、自分がマイノリティになったことです。これは、日本人の私にとって、東アジア圏から出ないと体験できなかったことです。旅行に行った際には、分かりやすく、レストランで窓側の席に座らせられたこともあります。マイノリティになると、自分が何か悪いことをされたときに、自分がマイノリティだからかと一旦考えてしまいます。もちろん偶然かもしれませんが、被害者意識が強すぎだともうかもしれないですが、自分が弱い立場にいると感じやすいことなのかもしれないです。

あと、日本にいたころは、アジアというと韓国、日本、マレーシアなどが位置する東アジア圏を考えがちだったのですが、留学してからは西アジアからの留学生も多かったので、自分の意識の中の世界地図が広がったように思います。

自分の意見を周りに言うことにも慣れました。アメリカにいる人は、様々な人種がいるせいか、自分から言わないと英語をゆっくり話してくれませんか、気遣いのできる人ばかりではありません。また、何か問題が起きるのは日常茶飯事なので、自分から言っていけないと何も改善されません。アメリカは日本と比べて、そういった際の対応が柔軟な点ありがたいです。

今回の留学を通して、語学能力の向上はもちろん、海外で生活することで精神的な成熟や大切な友人たちとで会うことができ本当に幸せでした。もちろん楽しいことばかりではありませんが、苦しかったこともまた大事な思い出です。学んだことや経験したことを最大限に生かして、今後の学業や就職につなげていきたいです。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

まずは今後参加する講義で学んだことや英語を生かして、自分の専攻分野の学修を深めていきたいです。ゼミの同時履修や講義など、同学年から遅れている部分があるので、遅れを取り戻せるよう、集中して取り組んでいきたいです。また、英語を聞く機会はたくさんありますが、話す機会はなかなかないので、能力は衰えないように友人との会話やひとり言などは定期的に行うようにします。

現在、大学3年生になり、就職活動も始まりました。まだ業界を詳しく確定できてはいないため、サマーインターンや説明会を通じて、より狭めていく予定です。しかし、将来的には海外の会社とも関係を持てるような、もしくは海外駐在できるような会社に就職したいという思いはあります。留学生として異国で生活することと会社員として生活するのでは、また違った視点を持つことができると思いますし、生活の便利さも変わるのではないかと思います。学業と就職活動の両立をし、自分の理想の将来を描いていきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

少しでも留学に興味があると思ったら、ぜひ挑戦してほしいです。大学生のうちは時間もたくさんあるので、惜しみなく使って、自分の好奇心や興味に素直に従える貴重な時期です。

ただ、留学に行く目的や計画はしっかりと練ったほうが良いと思います。私は、かなり突発的に行くことを決め、急いで英語の資格勉強を始めたので、満足のいくスコアは取れませんでしたし、留学する学校の選択肢が狭まってしまったので、その点は後悔しています。特に学校選びでは学部だけでなく、面白そうなサークル、部活があるかもできればチェックできると良いと思います。授業よりも、イベントやクラブ活動で友人を作るほうが簡単だと感じます。あと、都市か田舎かでも生活の便利さが変わります。

特に留学中に近隣の地域や国に旅行することもお勧めしたいです。私が留学していたアメリカも、国内でも地域によって雰囲気がかなり違うので、良い経験になりましたし、日常生活からリフレッシュできました。